

『教育部の働き』

教育部担当執事 丁野雅子

教育部はおもに教会の子どもたちへの働きの取りまとめや、教会全体の学びの提供をしています。23年度から子ども・ユース担当として江原美歌子主事も働きをご一緒くださっています。それぞれの働きを覚え、祈り、ご参加いただけますようお願いいたします。

◎みことばの学び：教会学校は赤ちゃんからお年寄りまで全年齢層のクラスが、連盟発行の『聖書教育』に沿って、みことばの学びと分かち合いを中心に共同学習をしています。子どもクラス（ハレルヤキッズ）は、4月からは9時40分から、賛美と毎回異なる奉仕者による子どもメッセージと分級活動を行います。24年度から上原克也さんが教会学校長を担われます。聖書を学ぶ会はじっくりと1つの書簡に取り組んで学んでいます。また教育部の管轄ではありませんが、聖書教育の箇所を水曜の聖書の学びと祈り会、金曜集会でも学び、その時々違うメンバーによる分かち合いと気づきが与えられ、深められています。

◎子どもプログラム：子ろばの会は未就園児の親子の会です。コロナ期間に子どもたちが成長し、集会はしていませんが、聖書に基づく子育ての学び会をオンラインで行なっています。読み聞かせの会で子どもたちに絵本を読み聞かせる働きを28年間続けてきましたが、次年度は貸し出しのみの計画です。良い絵本はこころを育てます。教会の財産である絵本をぜひご活用ください。小羊会は各会の働きの一部として、小学生年齢のこどもたちの活動を行っています。賛美やゲーム、学びを通して世界を知り、世界で働くイエスさまの働きを知っていきます。

◎全年齢層のまじわり：以前は宿泊を伴う修養会をしていましたが、久々に交わりをテーマに24年1月に修養会をいたしました。短時間でしたが、子どももおとなも、ひとつ所に集まって過ごす恵みをいただきました。次年度も計画いたします。

◎子どもと共なる礼拝：以前は就学前のお子さんの託児をしていましたが、再び集まって礼拝をお捧げすることに慣れていくために、現在は保護者の方々がお子さんと一緒に礼拝を守っています。奉仕者も見守りをしながら、次の形を検討しているところです。一緒に奉仕してくださる方を募ります。子どもと共なる礼拝は、教育部が掲げ続けているテーマです。「子どものため」ではなく「子どもと共なる」ことで生まれる豊かさを、教育部だけでなく、教会全体で考えていくことができると願います。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046(274)3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>